

第5学年 国語科学習指導案

西和賀町立越中畑小学校

児童 男2名 女3名 計 5名

- 1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう
教材名 「ニュース番組作りの現場から」(清水 建宇)
工夫して発信しよう／編集して伝える

2 単元について

(1) 児童について

児童は、1学期の説明文「サクラソウとトラマルハナバチ」の学習において、サクラソウとトラマルハナバチとの協力関係を読み取り、要旨をまとめ、筆者の考えに対する自分の考えをもつ学習を行った。内容を正しく読み取る力がやや不足していると感じ、大切な語句にサイドラインを引き、さし絵に必要な事柄を書き込ませながら、サクラソウとトラマルハナバチの関係性をつかませた。また、終末では、サクラソウとトラマルハナバチの協力関係から、筆者は読み手に何を伝えたかったのかを考えさせた。しかし、筆者の考えを十分に理解し、根拠立てて自分の考えを話すまでには至っていない。

そこで、自分の考えや思いを広げたり、より明確にしたりするために、1単位時間にグループでの話し合い活動を設けてきた。そこにより以前に比べ、相手の考えに質問をしたり、相手の考えのよさを見つけたり進んでできるようになっている。しかし、話し合いによって、より正確な読み取りとしたり、自分の考えを深めたりするまでには至っていない。

そのため、本単元では、自分達の住む地域の紹介ビデオ作りを通して、自分の考えを明確に伝えたり、話し合いによってよりよい伝え方を見つけたりできるように指導していきたい。

(2) 単元及び教材について

第5学年及び第6学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身につけさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」ことである。また、「書くこと」の目標は、「目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考え文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。」ことである。

本単元では、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかつ読んだりすること。」(読むことウ)、「考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。」(書くことア)、「事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。」(書くことウ)を重点に指導する。

「ニュース番組作りの現場から」は、ニュース番組の特集の作り方についてまとめた説明的な文章であり、時間に沿って、報道スタッフの役割や情報収集、編集会議のあり方、伝えたい内容の絞り込み方等がわかりやすく整理されている。その点で本教材は、ニュース番組の作り方に関する情報提供としてだけでなく、時系列に沿って大事な事柄に注意しながら内容を読み取る文章としても適しているといえる。

「工夫して発信しよう」では、伝えたいことの方がよくわかるようにするためにはどう編集したらよいかなどを考えることを通して、「ニュース番組作りの現場から」で学んだ目的に応じた情報の配列や編集等についての理解を深めることができる。この点から、目的に応じて、筋道を立てて文章を書く学習に適しているといえる。

(3) 指導にあたって

第一次では、単元全体に目を通し、「ニュース番組作りの現場から」「工夫して発信しよう」で構成されていることを知らせる。そして、学習の見通しと、題材を決めニュース番組(ビデオ形式)を製作して発信するという目的と「やってみたい。」「どんな番組を作ろう。」など意欲や興味をもたせたい。

第二次では、ニュース番組の特集の作り方の過程、大事な点や工夫していること、努力や願いの3つについて確実に読み取らせていく。要旨については、「サクラソウとトラマルハナバチ」の学習を想起させ、筆者の述べたいことを中心にとらえさせたい。

第三次では、最初に、テレビやラジオ等のニュースの伝え方の違いや放送原稿の特徴についておさえたい。また、目的と伝え方にあわせて材料を集め、編集したり原稿を書かせたりする。そして、目的に応じた情報の配列や編集等についての理解を深めさせたい。その後、情報を発信する会を6年生と合同で開き、学習内容について交流を図る。さらに、できあがったビデオを他校に紹介し、感想を聞く活動を予定している。

本校の研究主題「自らの思いや考えを表現できる子」に関わっては、次の点に留意したい。

- ①自力解決の場における一人一人に思いや考えをもたせるための指導の工夫として
- ・「放送の○日前」や「○○しました。」という文末表現にサイドラインを引かせ、「いつ、どんなことをしたのか。」を正しくとらえさせる。
 - ・ワークシートを用意し、ニュースを人々に伝えるまでの過程や、それぞれの過程で大事なことや気をつけることなどを整理させる。
 - ・「工夫して発信する」では、「ニュース番組作りの現場から」で学んだ取材の仕方や放送原稿の書き方などをふり返らせる。
- ②交流の場における児童の思いや考えを広げ深めるための指導の工夫として
- ・2～3人（同学年内）で、課題に対して読み取ったことや考えたことを話し合う時間を設ける。この話し合いを通して、自分の力で整理した事柄を確認したり修正したりし、自分の考えを他の考えと比較したりできるようにしたい。また、自分の考えを再認識したり、相手の考えを理解し合う場としたい。この活動により、自分の考えをより広げたり深めたりすることにつながるようにする。
 - ・「工夫して発信する」では、話し合いを通して、伝える方法や内容などを深めさせたい。また、6年生にアドバイスを適宜してもらいながら、よりよい伝え方を学ばせたい。
 - ・単位時間の後半「ふり返り」の場で、学習を通して学んだことや考えたことを6年生に発表する機会を設ける。6年生には、印象に残った点を話させる。他にも、6年生には、昨年の学習を想起したことと関連づけて話すことができるようにしたい。そして、次時への意欲喚起へとつなげる。

3 単元の目標

◎ 文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのようにして作られるかを知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深める。

◎ 伝えたいことをどのように伝えるかをグループで協力して考え、形にして発信する。

【関心・意欲・態度】

- ・ニュースを探して伝えることに関心をもち、伝え方や内容を工夫しようとする。

【読むこと】

- ・番組作りの大切な点を的確に押さえながら、報道スタッフの願いなどを読み取る。
- ・自分たちが番組を作るために必要な事柄を時間の順序にしたがって段階ごとに読み取る。

【書くこと】

- ・自分が伝えたいこと、相手が知りたいことなどを考えて発信する。
- ・編集作業を通して、書く必要のある事柄を整理する。
- ・集めた材料を、目的にあわせて整理し、加工して伝える。

【言語事項】

- ・ニュースを伝えるために効果的な文章の構成について理解する。

4 指導計画と評価規準（14時間）

次時	学 習 内 容	関心・意欲・態度	読むこと	言語事項
一 つ か む	1 単元名、リード文から単元全体の構成をとらえ、学習の見通しをもつ。 大まかな内容をつかみ、感想を持つ。	教材文を読んだ感想を進んで書こうとしている。	文章全体の大まかな内容をとらえている。	新出漢字や読みかえ漢字を正しく読んでいる。
	2 題名と第1段落から読みの課題を共通認識し、全文を読む。 小見出しをつけ、文章構成のだいたいをつかむ。	進んで意味段落に分けようとしている。	文章構成をつかみ、「特集」について理解している。	文章全体の構成や経過を正しくとらえている。
二 3 ・ 4	ニュース番組の「特集」ができるまでの様子を、時間の順序をおって整理しながら読み取る。	課題を解決するために、読みの視点に気をつけながら内容を読み取ろうとしている。	番組作りのそれぞれの過程で大事な点や工夫した点を正確に読み取っている。	主述が明確な文章でまとめられている。

深 め る	5	教材文を読み、番組作りの大事な点や気をつけることを読み取る。			
	6	⑩段落を読み、番組作りの努力や願いについて読み取り、要旨をまとめる。	中心語句を進んで見つけ、それらをもとに要旨を書こうとしている。	報道スタッフの願いや工夫、筆者の伝えたいことを読み取っている。	指示語の働きをおさえながらまとめている。
	7 本時	自分がデスクだったら、どんな特集をしたいかを考える。	特集として伝えたい題材を、進んで考えている。	読み取ったことを生かし、特集として伝えたい題材を考えている。	自分達の目的や意図に適した題材を選んでいる。
		学 習 内 容	関心・意欲・態度	書くこと	言語事項
三 広 げ る	8	「工夫して発信しよう」を読み、情報発信までの計画を立てる。		情報発信までの手順を理解している。	
	9	取材方法や内容を話し合い、企画書を書く。	企画書や情報発信までの計画をもとに、進んで活動している。	疑問を解決するための取材方法、内容について話し合い、企画書を書いている。	自分達の目的や意図に応じた構成で企画書を書いている。
	10	取材をもとに伝えたいことの中心や撮影内容を見直す。 だいたいの内容と構成を決める。		伝えたいことの中心について考えながら、構成メモを作っている。	聞いたことや事実、自分の考えを文末表現等に気をつけている。
	11 ・ 12 ・ 13	取材したことをもとに ・材料を整理し、編集する。 ・放送用原稿を作成する。 ・流れに沿って撮影する。		集めた材料を整理して、わかりやすく原稿を書いている。 ↓	
	14	できあがった特集を交流する。 これまでの学習をふり返る。		特集を見て、越中畑の特徴やよさが分かりやすくなっていたか意見を述べ合ったり、感想を発表し合ったりしている。	

5 本時の指導（第7時／14時間）

(1) 目標

○読み取ったこと（特集の意味や伝えるまでの過程）を生かし、特集として伝えたい題材を考える。

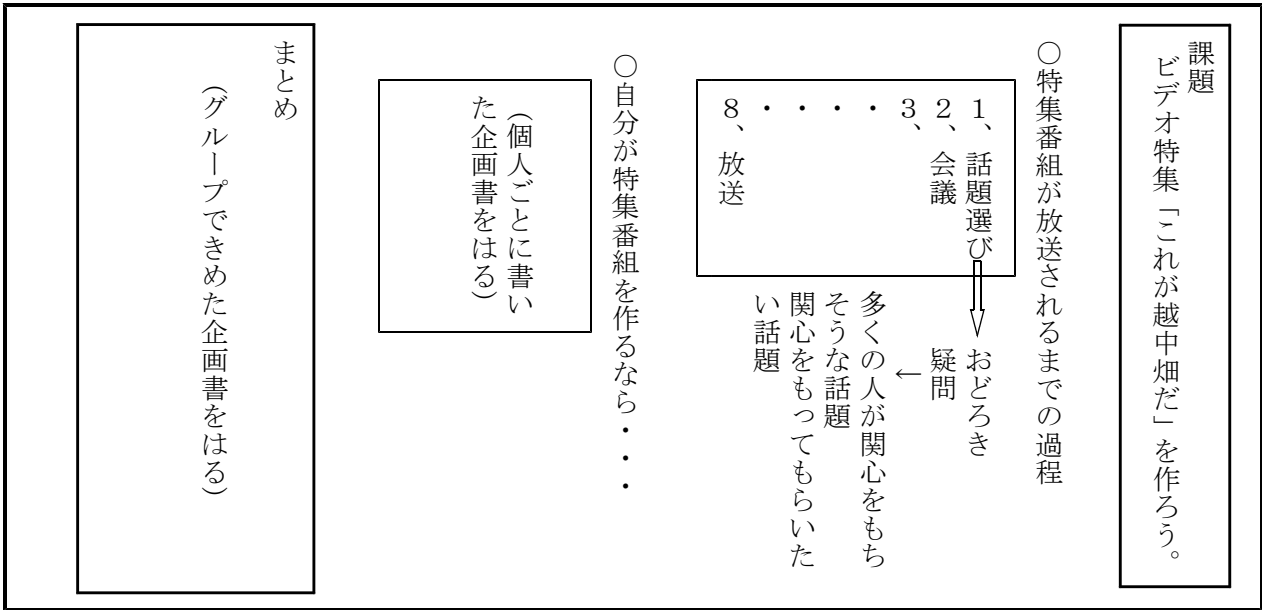
(2) 評価の観点と具体的評価規準

観点	A	B	支援を要する児童への手立て
読む能力	越中畑の特色やよさを伝える話題（行事）を選択したり、選択した根拠を明らかにしたりして、特集にしたい題材を具体的に考えている。	自分の身の回りの出来事や伝えたいと思う事柄を思い浮かべ、特集にしたい題材を考えている。	普段の生活や行事を行った中で、越中畑の特色を想起させる手がかりとして、教室の掲示物や行事後の感想文を参考にさせる。

(3) 展開

段階	教師の支援（・）と評価（＊）	学習活動と学習内容	形態
つかむ 8分	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習をふり返りながら、課題を把握させる。 特集番組が放送されるまでの過程と、各過程での大事な点をカードにそれぞれ書いたものを、組み合わせたり並び替えたりさせて前時までの学習の確認をする。 ニュースと特集のちがいを確認させる。 	<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ビデオ特集「これが越中畑だ」を作ろう。</div> <p>2 前時までの学習を振りかえる。</p> <p>－学年内での話し合い－</p> <ul style="list-style-type: none"> 特集番組が放送されるまでの手順や各過程での大事な点などを確認し合う。 特集としてどんな話題がふさわしいか確認する。 	
深める 27分	<ul style="list-style-type: none"> 全く越中畑小（越中畑）を知らない人に、越中畑がどんなところなのかを知らせる特集番組にすることを把握させる。 小学校または地域の良さ（特徴）を全面にだし、特集番組を見た人が「いつてみたい。」と思うような話題を考えることを確認させる。 話題を書くカードを用意し、何を、何のために（どうして）伝えるのかを意識させ、根拠を明確にさせながら書かせる。 始めから一つに絞らず、視点をもとに考えられる内容をできるだけたくさん書くようにさせる。 手がかりとして、掲示物や行事後の感想文を参考にさせる。 ＊読み取ったこと（特集の意味や伝えるまでの過程）を生かし、企画書を書いている。（カード、発表） 何でこれを伝えたいのか、他の学校では行っていないのかなど考える視点を明確にして聞きあう。 	<p>3 どんなことを考えながら、特集として取り上げればよいか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝える相手…北上市内の小学生 ○どんなこと…越中畑のよさ、特徴 ○伝える方法…ビデオテープで <p>4 企画書を書く。本校の研究に関わる点①</p> <p>今までの行事や生活の事柄をもとに、特集にする話題を見つける。</p> <p>－自力解決－</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人ごとにカードに記入する。 ○視点をもとに個人で判断する。 自分の書いたカードに、印を付ける。 特集で良さそうなものには ◎ まあまあよさそうなもの ○ よくなさそうなもの △ <p>－学級内での話し合い－</p> <p>視点をもとに話し合い、どの企画にするか決める。</p>	
まとめる 10分	<ul style="list-style-type: none"> 6年生の発表を聞く際、以下のことに気をつけながら聞くよう指示する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 5年生の聞く視点 「印象に残ったことは何か。」 5年生の話す視点（例） 「わたしが印象に残ったことは、～。」 </div>	<p>5 まとめる。本校の研究に関わる点②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特集として伝えたいことを6年生に紹介する。 ・選んだ行事（事柄）で、越中畑を紹介しようと思ったわけなども伝える。 ○6年生の発表を聞き、感想を述べる。 ○自己評価する。 <p>6 次時の学習内容を知る。</p>	

(4) 板書計画



(5) 児童の実態と指導の重点 (省略)